

投球制限ガイドライン

投手の投球回数に関しては、「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」に基づくものとする。

- ① 1日最大80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する。
- ② 3連投（連続する3日間で3試合）する場合は、1日の投球数を40球以内とする。4連投（連続する4日間で4試合）は禁止する。
- ③ 大会中は1日80球投球後、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- ④ ①～③を基本原則とするが、打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認めると。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ⑤ 連続する2日間で80球を超える投球をした投手並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
- ⑥ ボークは投球数としない。
- ⑦ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。

投球数制限のケース

	初日	2日	3日	4日	5日	予備
A	80球	40球	-	80球	40球	-
B	40球	40球	40球	-	40球	80球
C	-	80球	40球	-	80球	40球
D	-	-	40球	40球	40球	-
E	40球	-	40球	80球	-	80球
F	80球	-	80球	-	80球	-

投球数制限を導入した試合の流れ

【試合前本部準備】

投球数確認シートを4部(各チーム2部)用意する。

前の試合から継続したシートがあればそれを使用し、初戦であれば新規でシートを準備する。

前の試合から継続したシートがある場合は、本試合での投球可能数を確認し、1部を相手ベンチに渡す。
(初戦であれば、渡す必要無し)

【試合中の球数管理】

本部担当球団は、本部に球数担当を置いて運用する。

球数担当は、カウンター等で投球数をカウントし、イニング終了時にスコア担当と投球数を照合して、間違い無ければ投球数確認シートの各イニング欄に投球数を記入する。

アナウンス担当は、イニング終了時に、「ただいまの〇〇君の投球数は〇〇球、合計〇〇球です。」とアナウンスする。

球数担当とスコア担当で球数照合が一致しなかった場合は、本部担当代表により、速やかに両ベンチのスコアラーと確認を行う。

イニング途中で投手が交代する場合は、投手交代のアナウンス後、「この回の〇〇君の投球数は〇〇球、合計〇〇球です。」とアナウンスする。

投手の投球数が投球制限まで残り5球になった時点で、「〇〇君の投球数、残り5球です。」とアナウンスする。

【試合終了後】

投球数確認シートの「総投球数」、「累計投球数」、「翌日 or 次試合投球可能数」を確認し、各チーム2シートに記入する。(ベンチに渡していたシートがあれば、速やかに回収して記入する)

※ トーナメント大会で負けた場合など、次の試合の予定が無いチームのシートについては、必ずしも記入する必要は無い。

投球数確認シートは、本部スコアと合わせて各チームにサインをもらい、各チームに自チームのシート2部を渡す。